

神福下集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成22年 3月25日

修正日：平成23年 3月14日

市町村名	日 南 町	組織名	神福下集落営農組合
------	-------	-----	-----------

1 地区の範囲
日野郡日南町神福下地区

2 地区の概要

水田面積	41.825ha
主な水田栽培作物	水稻
農家数	37戸
認定農業者数	1経営体
地域水田農業ビジョンの担い手数	1経営体

3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。）
・ 設立時期（規約等の制定日）【平成22年 2月27日】

	組織形態（該当形態に○）	加入農家数
【現状】前年度実績 (21年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・ <u>未組織</u> <li style="width: 50%;">・ 共同利用型 <li style="width: 50%;">・ 作業受託型 <li style="width: 50%;">・ 協業経営型 	0戸
【目標】事業開始翌年度 (23年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・ 共同利用型 <li style="width: 50%;">・ <u>作業受託型</u> <li style="width: 50%;">・ 協業経営型 	22戸

4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標

項 目	【現状】	【目標】
集 積 面 積 ①	0ha	24.624ha
うち作業受託 ②	0ha	24.624ha
対象水田面積 A	38.420ha	38.420ha
集 積 率 ①/A	0%	※③ 64.1%
うち作業受託 ②/A	0%	※④ 64.1%

- 注1) ※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。
 2) ※④の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。
 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1	<p>担い手の明確化及び水田利用集積目標</p> <p>我々の神福下集落も高齢化、後継者がいない等により、耕作放棄地が増加し加えて、現在使用している農業機械が壊れたら、更新をしてまで農業を続けたくないと考えている農家が大半を占めるにいたっております。</p> <p>このような状況を打開するため集落営農組織を立上げ、農家の作業を支援しながら地域の担い手として、耕作できない農家の受け皿となり、耕作放棄地をださない様に努めると共に、農家の所得向上を図りながら地域の活性化をめざしていきたいと思ひます。</p>
2	<p>水田作付計画、生産調整の方針・具体策</p> <p>水稻の品種はヒトメボレ、コシヒカリ、ヒメノモチの3種類を作付けしており現状の品種を維持して作付ける。</p> <p>作付け場所については、圃場ごとにバラバラに品種が作付けされているので、品種ごとにブロック化して作付け、防除、刈取等の効率化を図ることを目標とする。(将来に向けて研究・調整をしていく。)</p>
3	<p>農業用機械施設の効率利用</p> <p>現在、神福下地区には、程度のいいトラクター、田植え機を個人所有している農家が多数あり、その機械を利用して耕起、田植え作業を行う。</p> <p>平成22年度多様な集落営農支援事業に取り組み、平成22年秋にコンバインを1台導入し、乾燥機は地区内にある機械を有効利用するが、処理能力を補充する点から平成22年秋に新規導入し作業受託体制を整備した。</p> <p>当初、田植機は個人所有している機械を利用する計画であったが、組合内にある機械7台の内、3台が故障し廃棄せざるを得なくなった。残りの機械は耐用年数を経過しているためあと数年しか使用できないと思われる。そのため、田植機(6条植)1台を導入し作業受託体制を整備したい。</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月
コンバイン	4条刈	1台	7,021,000円	平成22年8月導入済
乾燥機	50石	1台	2,957,000円	平成22年8月導入済
田植機	6条植	1台	3,251,325円	平成23年4月